劇団nono

野々市市民劇団

劇団 nono

第7回定期公演

『Oj と Kj』

原作：マーク・トウェイン
「王子とこじき」

脚色 / 演出：西本浩明
（演芸列車「東西本線」）

2016年
2月11日(木・祝)

【3回公演】
11時～ /15時～ /19時～
※開場は30分前

野々市市文化会館　小ホール
（野々市市本町5丁目4-1）

がらくた横町で暮らす貧しきトムと次期国王たる王子エドワード。
時を同じくして生まれたこの二人の少年は姿かたちがそっくりだった。
「劇団 nono にそんなそっくりな団員がいたかしら…？」と思われるかもしれないが、
そっくりという前提だった。
決して交わるはずもない世界で暮らしていた二人は、
ある時 運命のいたずらにより出逢ってしまう。
宮殿での生活に退屈していたエドワードは
外の世界を見たさにトムと自分が入れ替わることを思いつくが、
この悪ノリが後に大変な騒ぎを起こすことを彼はまだ知らない——
2014 年カメリアまつり「ほぼ、シンデレラ」の衝撃再び！
マーク・トウェインの名作「王子とこじき」をもとに、
半ば原作を無視して繰り広げられる 笑いと、感動と、あと 違う意味での涙を呼ぶステージ！
劇団 nono の新たな側面をお楽しみください。
※全年齢推奨基準でお届けしますので、安心してご家族でご鑑賞頂けます。

劇団 nono

野々市市民劇団「劇団 nono」
第 7 回定期公演
『Oj と Kj』

2016 年 2 月 11 日 (木・祝)

[3 回公演]11 時～ /15 時～ /19 時～（開場は 30 分前）

野々市市文化会館フォルテ　小ホール

■料金　（全席自由）
前売　一般 1,000 円　高校生以下 500 円（当日いずれも 300 円増）
未就学児無料（整理券あり）

■チケット取扱い
野々市市文化会館 / 野々市市情報交流館 / アピタ松任店
インターネット予約（http://forte.nono1.jp）

西本 浩明 プロフィール

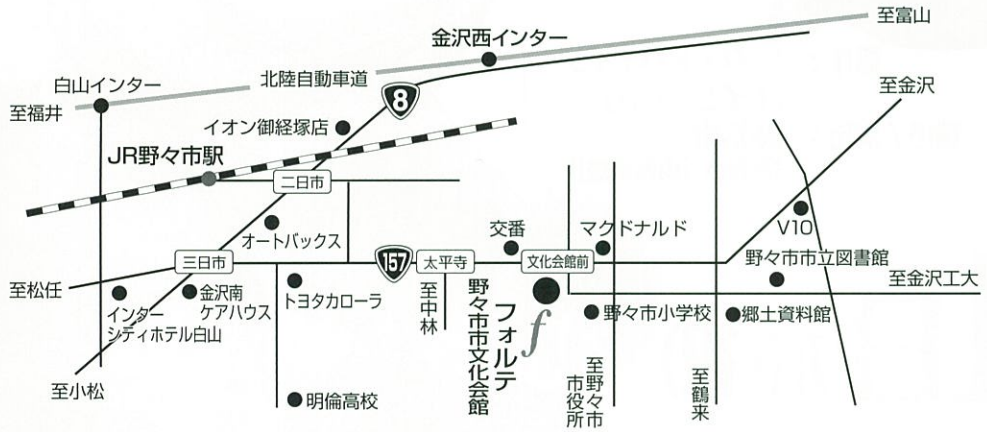
俳優、音声言語指導者、演出家、シナリオライター。
演芸列車「東西本線」代表。1978 年石川県野々市市生まれ。
磯貝靖洋氏（音声言語指導者・演出家）、花柳茂珠氏（日本舞踊家）に師事。
「誰もが楽しく・納得できる舞台」をモットーに、県内外を問わず舞台公演、
ワークショップ、施設訪問など多岐に渡る活動を行っている。

出演

岡谷 陽光　岡谷 怜皇　木川 幸子　駒井 陽子
高松 英里奈　中川 誠　中島 加津子　西出 早織
西村 優太朗　日向 弘幸　山口 由美子　吉村 楓
安蒜 夏美　岩田 佳里奈

スタッフ

原作：マーク・トウェイン「王子と乞食」
脚色・演出：西本 浩明（演芸列車「東西本線」）
照明：松本 徹（SHOWKEN）
音響：中山 聡子
大道具：長山 裕紀（劇団ドリームチョップ）
衣装・小道具：西村 奈美江 / 西出 早織 / 吉村 恵子
振付：LAVIT
チラシ：西出 早織



JR金沢駅からのアクセス

電車　野々市駅よりバス「のっティ」又は「のんキー」乗車

バス　東口9番乗り場
40 南松任・白山市役所前 金城大学
41 千代野ニュータウン
42 寺井中央 乗車
太平寺 下車

高速道路からのアクセス

北陸自動車道「金沢西インター」または「白山インター」より

劇団員募集！

劇団 nono

普段の活動

日　時　第1・3火・土、第2・4水・金　いずれも夜8時～9時半
　　第2水曜日は歌、第4水曜日はダンスの練習
場　所　文化会館フォルテ（石川県野々市市本町5丁目4-1）
劇団費　正団員2,500円／月　準団員1,000円／月

劇団nonoとは

石川県野々市町（当時）の地域住民が平成 21 年に設立。
小学 1 年生から 50 代までの団員 20 人。
演劇を通して、地域の文化芸術の活性化と人材育成を目指す。
平成 24 年 1 月には野々市市誕生記念公演「トランプの国」を上演。
その後も年 1 回の定期公演のほか、野々市市内のイベントにも積極的に
参加・出演して好評を得ている。

主催：(公財)野々市市情報文化振興財団
共催：劇団nono　http://gekidan.nono1.jp/
後援：FM-N1、北國新聞社、北陸放送、テレビ金沢、エフエム石川

お問合せ

野々市市文化会館（野々市市本町 5-4-1）
TEL 076-248-8000　FAX 076-246-2391
E-mail　gekidan@nono1.jp